全学計算機システム リモートデスクトップを用いた 実験方法

筑波大学情報メディア創成学類 情報メディア実験「物理エンジンを用いたアプリケーション開発」 説明資料

大学のリモートデスクトップの使い方1

- 1. 全学計算機システムのページにブラウザでアクセス https://www.u.tsukuba.ac.jp/
- 2. 左バーから「ログイン・パスワード」→「リモートアクセス」をクリック
- 3. リモートアクセスのページに移動するので、 「全学計算機システムのWindowsデスクトップを利用する」をクリック



大学のリモートデスクトップの使い方2

4. Webブラウザで https://view-con00.u.tsukuba.ac.jp にアクセス, もしくは VMWare horizon client をダウンロードして, サーバ名 view-con00.u.tsukuba.ac.jp を入力してリモートデスクトップに接続(詳しい手順は全学計算機システムのページ参考)

2-2. Web ブラウザで接続 (HTML5)

[接続]

1. 下記 URL にアクセスします: https://view-con00.u.tsukuba.ac.ip 次のようなページが表示されるので「OK」をクリックしま □ ● 用 一 新飲 ❷ cc ❷ u 夢 飲飯具有用 ❷ UTOS ⑩ utosボーケル ❷ Prosell ❷ 絵与 ❸ 厚 ❷ D 筑波大学 【注意事項】[Notes] リモートデスクトップサービス(Remote Desktop Service ・ユーザー名に「@u.tsukuba.ac.jp」を入力する必要は ありません。 13: s1234567@u.tsukuba.ac.in ・使用方法は<u>こちら</u>をご参照ください。 - It is not necessary to include "@u.tsukuba.ac.jp in the user name. Wrong : s1234567@u.tsukuba.ac.ip Please refer to here for usage 本製品は、F5 Networksからライセンスが付与されています。© 1999-2019 F5 Networks. All rights reserved.

2-3. VMware Horizon Client を用いた接続

VMware Horizon Client を利用し、全学計算機システムの Windows 環境を利用する際の手順です。

Linux は以下を御覧ください。

VMware 製品ダウンロードからの Horizon Client for Linux のイン ストールまたはアップグレード

なお、VMware 社にて動作検証されているディストリビューションなどは以下をご参照ください。

Linux クライアント システムのシステム要件

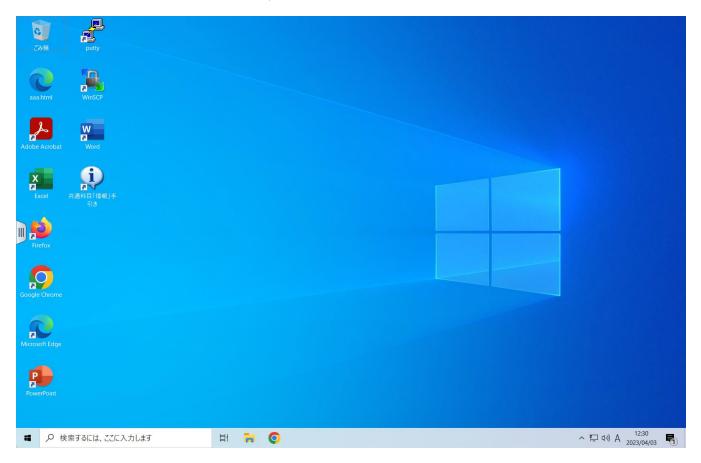
Mac については以下をごらんください。 Mac への Horizon Client のインストール

Windows については以下を御覧ください。



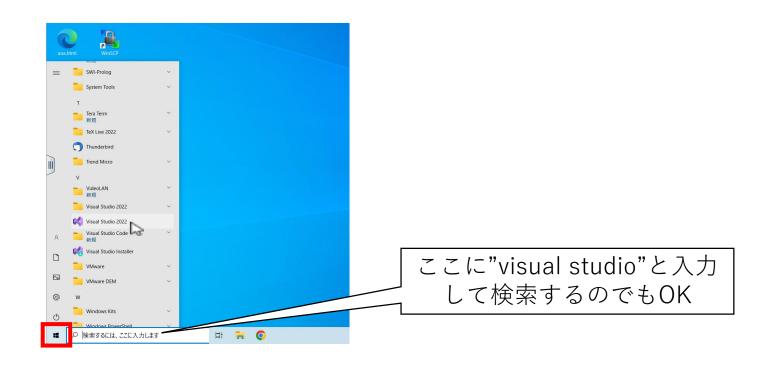
大学のリモートデスクトップの使い方3

5. 印刷枚数などに関する注意事項が出たらOKをクリックし,下のような画面がWebブラウザorVMW are clientに出ればOK(デスクトップのアイコンは異なっていると思います).



リモートデスクトップで全学計算機のWindows環境にアクセスできたら、 その環境で**Visual Studio 2022(以下VS2022)**を使って実験を進めていきます. 以下はVS2022での演習の進め方の説明です.

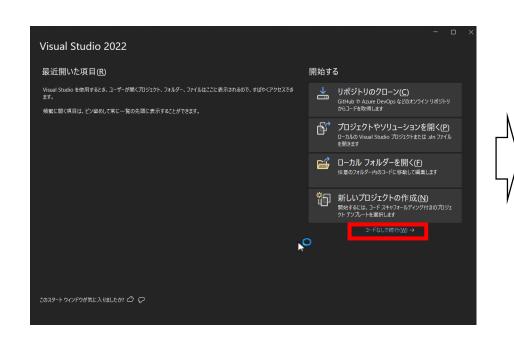
- 1. 左下のウィンドウアイコンをクリックしてスタートメニューを出す.
- 2. アプリ一覧から「Visual Studio 2012」をクリックする.

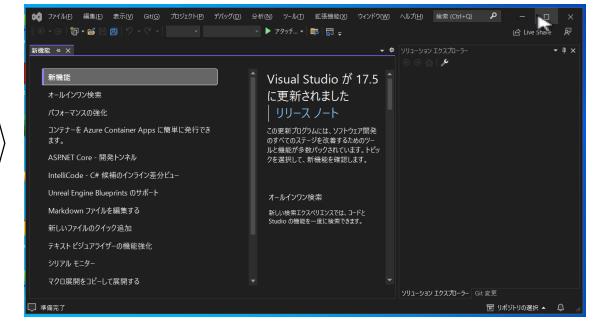


4. Visual Studioの初期設定画面が出たら「コードなしで続行」 をそれぞれ選択

(プロジェクトやソリューションを開くで次ページのソリューションファイルを指定するのでもOK)

5. 右下のようなVisual Studioのウィンドウが出たらOK.





デフォルトだと黒い背景ですが、色合いは「

6. サンプルプロジェクトファイル(iml_physics.zip)を以下のページの「1. 物理シミュレーションとは?」からリモートデスクトップにダウンロードする. サンプル配布ページ: https://fujis.github.io/iml_physics/#schedule

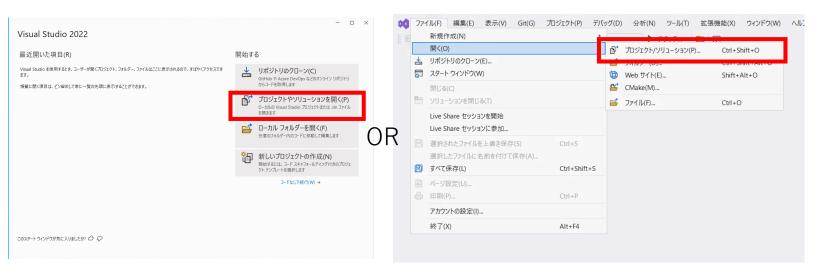
リモートデスクトップ内のWebブラウザでアクセスしてダウンロードするか, 自身の環境でダウンロードしたものを転送する. リモートデスクトップでの転送はコピーアンドペーストでできる(環境によるかも)

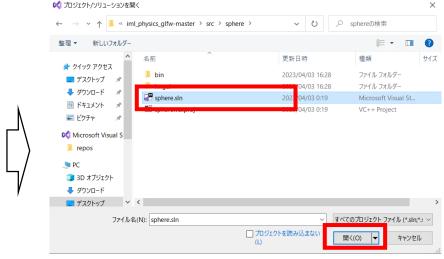
7. ダウンロードしたファイルを右クリックして、「解凍」でファイルを解凍する

(解凍場所は任意)

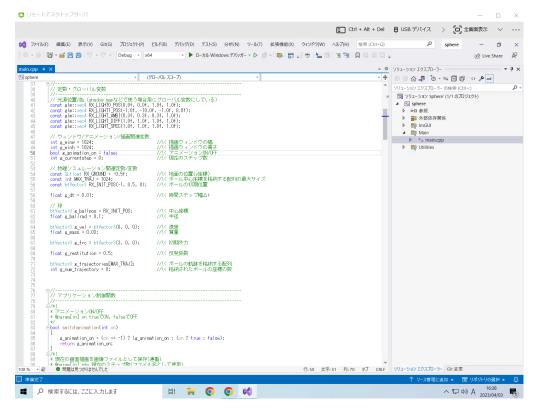


- 8. Visual Studio 2022を開き,「ファイル」→「開く」→「プロジェクト/ソリューション」 をクリックする(もしくは起動時のウィンドウで「プロジェクトやソリューションを開く」).
- 9. 「プロジェクトを開く」ウィンドウが出るので、手順7で解凍したフォルダ内の iml_physics/src/sphere/sphere.slnファイルを選択して、「開く」をクリックする. (セキュリティ警告が出たらそのままOKをクリック).





- 10. VS2022ウィンドウの右にある「ソリューションエクスプローラー」から, sphereプロジェクトをダブルクリックして開き,Main Filesの中の main.cppファイルを開く.
- 11. コードを確認したら,「ビルド」メニュー→「sphereのビルド」を選択, 下の出力領域にビルドの様子が出るので,「すべてビルド: 1 正常終了…」と出ればOK.



- 12. ビルドが正常に終了したら,「デバッグ」メニュー→「デバッグなしで開始」を クリックする(「デバッガを使う場合は「デバッグの開始」でもOK).
- 13. 下図のように青いボールが描画されたウィンドウが表示されればOK.

実験ページ(https://fujis.github.io/iml_physics/)にアクセスして, 実験を進めていこう!

